

れた症例は、患者が登録を拒む場合を除いてすべて JPLSG 登録しなければならない。

- 3) 施設会員は積極的に JPLSG 研究に参加し、本規約を守り、継続的に症例を登録かつ追跡しなければならない。
- 4) 施設会員はデータセンターの求めに応じて速やかにデータを報告しなければならない。
- 5) 施設会員は別途に定める年会費を納めなければならない。
- 6) 施設会員は各年度末に下記のいずれかの項目に該当する場合は、自動的に会員の資格を失う。
 - (1) 登録受付中の JPLSG 臨床試験に一つも参加(倫理審査承認済に限る)していない
 - (2) JPLSG 臨床試験を討議する全体会議に過去2年間一度も出席していない
 - (3) 年会費を3年間滞納している

3. 個人会員の義務

- 1) 個人会員は別途に定める年会費を納めなければならない。なお、会費を3年間滞納した個人会員は自動的に会員の資格を失う。

4. 賛助会員の義務

- 1) 賛助会員は別途定める年会費を納めなければならない。なお、会費を1年間滞納した賛助会員は自動的に会員の資格を失う。

(データセンター)

第4条 データセンターは、国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センターに置く。

(検体保存センター)

第5条 検体保存センターは、国立成育医療センター研究所に置く。

(中央事務局)

第6条 中央事務局は、財団法人がんの子供を守る会に置く。

(プロトコールおよび検体利用)

第7条

1. 治療研究プロトコールの発案は治療研究委員会が行い、運営委員会および代議員会で審議・承認されて決定する。代議員ないし代議員の推薦する者は治療研究委員会にプロトコールを発案することができる。
2. 採取提出された組織及びその抽出物(サンプルという)の保存とその研究利用について別途定める細則に従う。

(報告および発表)

第8条

1. 委員会の委員長は、委員会における活動を運営委員会において報告する。

2. 委員は、受け持った解析を外部(学会と論文に限る)へ公表することができる。公表に先立ち、発表者および発表方法は各種委員会で決定され、運営委員会および代議員会の承認を得なければならない。
3. 外部に公表された成績は会員が自由に利用できる。
4. 外部へ未発表の内部資料は、第3章付則2に反しない限りにおいて、運営委員会の許可を得たうえで利用することができる。

(運営費)

第9条

1. JPLSG は年会費および寄付金により運営される。施設会員、個人会員、賛助会員は別途定める年会費を支払わねばならない。総会の際に会場費を徴収することができる。
2. JPLSG は会の運営に必要な資金を集めるために、公的・私的機関への研究助成の応募ならびに賛助会員の募集をすることができる。
3. 運営費は、中央事務局により管理される。
4. 年会費は、施設会員10,000円、個人会員1,000円、賛助会員50,000円とする。

(会計年度、任期)

第10条

1. JPLSG の会計年度は、当該年の4月1日から翌年の3月31日までとする。任期もこれに準じる。

第3章 付 則

(参加グループと役員・委員定数)

第1条 JPLSG は小児癌白血病研究グループ(CCLSG)、小児白血病研究会(JACLS)、東京小児がん研究グループ(TCCSG)、九州・山口小児がん研究グループ(KYCCSG)に所属する施設および研究者によって構成される共同研究組織である。

第2条 各研究グループから選出される運営委員および代議員の定数は、改選前年10月1日現在のJPLSG登録数を考慮して決定される。運営委員数は、CCLSG:2名、JACLS:9名、TCCSG:6名、KYCCSG:1名とする。代議員数は、CCLSG:10名、JACLS:39名、TCCSG:27名、KYCCSG:4名とする。ただし、定数は2年ごとに見直すものとする。

第3条 グループ選出の各治療研究委員会の委員定数は、CCLSG:1名、JACLS:3名、TCCSG:2名、KYCCSG:1名とする。残りは公募とし、その定数(上限5名)は現委員長(新規の場合は運営委員会)が定める。ただし、定数は2年ごとに見直すものとする。

(論文・学会発表)

第4条 共同治療研究の成果及び保存検体を利用した基礎的研究(以下、併せて共同研究と呼ぶ)の成果の発表の場は、原則として、国際的欧文雑誌、国際学会ないしは全国レベル

の学会とする。発表者は JPLSG の報告であることを明記しなければならない。

第5条 本会参加施設は、共同研究の一部であっても、個々の施設の症例で得られた研究成果に関しては、個々の施設の責任において発表して差しつかえない。但し、本研究の終了を待って結論を導くべき事柄、例えば治療成績などについては言及してはならない。

第6条 共同研究の成果の学会発表、論文執筆に関しては、治療研究委員会の推薦を受けて運営委員会が発表者、執筆者を指名する。原則として筆頭を執筆者とし、以下研究代表者、研究メンバー、統計担当（公表のための解析を行った時点での担当者1名）、治療研究委員会代表者の順とする。

第7条 論文発表の共著者、学会発表の共同演者の選択は以下の条件のいずれか一つ以上を満たす者とする。

- 1) 計画立案に中心的役割を果たした。
- 2) 集計解析に直接関わった。
- 3) 論文執筆に深く関わった。
- 4) 総括責任者（研究責任者、治療研究委員会の委員長など）
- 5) 一定以上の症例数を登録した施設会員の研究責任者。この場合、基準となる症例数は研究ごとに運営委員会で定める。ただし、登録および追跡調査への協力を完全に行っている施設に限るものとする。
- 6) 共著者、共同演者は代表、運営委員長を除き原則として各施設1名とする。著者の上司を加えることは行わない。

第8条 本会の研究成果公表のための論文費用は、本会が負担する。

第9条 研究代表者の了解を得て、総説的講演あるいは論文内容の一部として共同研究の成果を利用することができる。この場合は JPLSG のデータであることを明記する。ただし、利用可能な共同研究の成果は学会または論文に発表されたものに限定するものとする。

第10条 共同研究の成果発表担当者は、その発表や執筆内容を運営委員会で報告する。

第11条 担当者が発表、執筆した共同研究の成果は、全会員の共有の財産とする。その利用に際しては、研究代表者の了解を得るものとする。この場合、発表担当者は各施設会員の求めに応じて、既に公表された成績等に関して問い合わせに応じる義務がある。

代表	堀部敬三	国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター	JACLS
運営委員長	鶴澤正仁	愛知医科大学医学部小児科	CCLSG
副運営委員長	石井榮一	愛媛大学医学部小児科	JACLS
	小原 明	東邦大学医学部輸血部	TCCSG
運営委員	鶴澤正仁	愛知医科大学医学部小児科	CCLSG
	渡辺 新	中通総合病院小児科	CCLSG
	工藤 亨	北海道立子ども総合医療・療育センター	JACLS
	土屋 滋	東北大学大学院医学系研究科発生・発達医学講座小児病態学分野	JACLS
	堀部敬三	国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター	JACLS
	駒田美弘	三重大学大学院医学系研究科小児発達医学分野	JACLS
	原 純一	大阪市立総合医療センター小児血液腫瘍科	JACLS
	小阪嘉之	兵庫県立こども病院血液腫瘍科	JACLS
	小田 慈	岡山大学大学院保健学研究科/付属病院小児科	JACLS
	石井榮一	愛媛大学医学部小児科	JACLS
	足立壮一	京都大学医学部小児科	JACLS
	岡村 純	国立病院機構九州がんセンター臨床研究部	KYCCSG
	土田昌宏	茨城県立こども病院	TCCSG
	小原 明	東邦大学医学部輸血部	TCCSG
	熊谷昌明	国立成育医療センター血液科	TCCSG
	沖本由理	千葉県立こども病院血液・腫瘍科	TCCSG
	水谷修紀	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科発生発達病態学	TCCSG
	花田良二	埼玉県立小児医療センター	TCCSG
監事	浅見恵子	新潟県立がんセンター新潟病院小児科	CCLSG
	加藤俊一	東海大学医学部基盤診療学系再生医療科学	TCCSG
データセンター	齋藤光子	国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター	
検体保存センター	藤本純一郎	国立成育医療センター研究所	
代議員	菊田 敦	福島県立医科大学医学部小児科	CCLSG
	浅見恵子	新潟県立がんセンター新潟病院小児科	CCLSG
	松下竹次	国立国際医療センター小児科	CCLSG
	犀川太	金沢医科大学大学院発生発達医学	CCLSG
	金兼弘和	富山大学医学部小児科	CCLSG
	多賀 崇	滋賀医科大学小児科	CCLSG
	岩井朝幸	国立病院機構香川小児病院小児科	CCLSG
	渡辺 力	徳島赤十字病院小児科	CCLSG
	百名伸之	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター血液腫瘍科	CCLSG
	堀越泰雄	静岡県立こども病院血液腫瘍科	CCLSG
	小林良二	特定医療法人北楡会札幌北楡病院小児科	JACLS
	鈴木信寛	札幌医科大学小児科	JACLS
	吉田 真	旭川医科大学小児科	JACLS
	今泉益栄	宮城県立こども病院血液腫瘍科	JACLS
	遠藤幹也	岩手医科大学小児科	JACLS
	三井哲夫	山形大学医学部小児科	JACLS
	伊藤悦朗	弘前大学医学部小児科	JACLS
	小島勢二	名古屋大学大学院医学研究科小児科学	JACLS
	矢崎 信	名古屋市立東市民病院小児科	JACLS
	松戸道徳	岐阜大学医学部小児科	JACLS
	東 英一	三重大学医学部小児科	JACLS
	加藤剛二	名古屋第一赤十字病院小児血液腫瘍科	JACLS
	伊藤康彦	名古屋市立大学医学部小児科	JACLS
	伊藤 剛	豊橋市民病院小児科	JACLS
	岡田周一	浜松医科大学小児科	JACLS
	松林 正	聖隷浜松病院小児科	JACLS
	鷹尾 明	岐阜市民病院小児科	JACLS
	宇佐美郁哉	神戸市立医療センター中央市民病院小児科	JACLS
	谷澤昭彦	福井大学医学部小児科	JACLS
	吉原隆夫	松下記念病院小児科	JACLS

代議員

吉原隆夫	松下記念病院小児科	JACLS
今村俊彦	京都府立医科大学小児科	JACLS
若園吉裕	京都桂病院小児科	JACLS
八木啓子	大阪府立急性期・総合医療センター小児科	JACLS
坂田尚己	近畿大学医学部附属病院小児科	JACLS
多和昭雄	国立病院機構大阪医療センター小児科	JACLS
早川 晶	神戸大学医学部小児科	JACLS
河崎裕英	関西医科大学附属枚方病院小児科	JACLS
澤田明久	大阪府立母子保健総合医療センター小児内科	JACLS
倭 和美	大阪市立大学医学部小児科	JACLS
太田秀明	大阪大学医学部小児科	JACLS
神波信次	和歌山県立医科大学小児科	JACLS
大塚欣敏	兵庫医科大学小児科	JACLS
茶山公祐	岡山大学医学部小児科	JACLS
西村真一郎	広島大学医学部小児科	JACLS
今井 正	香川大学医学部小児科	JACLS
末延聡一	大分大学医学部小児科	JACLS
岡村隆行	琉球大学医学部小児科	JACLS
脇口 宏	高知大学医学部小児科	JACLS
金井理恵	島根大学医学部小児科	JACLS
河野嘉文	鹿児島大学医学部小児科	KYCCSG
松崎彰信	九州大学医学部保健学科	KYCCSG
稲田浩子	久留米大学医学部小児科	KYCCSG
柳井文男	福岡大学医学部小児科	KYCCSG
金澤 崇	群馬大学医学部小児科	TCCSG
嶋田博之	慶應義塾大学医学部小児科	TCCSG
秋山政晴	東京慈恵会医科大学小児科	TCCSG
齋藤正博	順天堂大学医学部小児科	TCCSG
磯山恵一	昭和大学藤が丘病院小児科	TCCSG
塩原正明	信州大学医学部小児科	TCCSG
木下明俊	聖マリアンナ医科大学小児科	TCCSG
角南勝介	成田赤十字病院小児科	TCCSG
杉田憲一	獨協医科大学小児科血液	TCCSG
金子 隆	都立清瀬小児病院血液腫瘍科	TCCSG
前田美穂	日本医科大学小児科	TCCSG
杉田完爾	山梨大学医学部小児科	TCCSG
井田孔明	東京大学医学部小児科	TCCSG
中舘尚也	北里大学医学部小児科	TCCSG
別所文雄	杏林大学医学部小児科	TCCSG
福島 敬	筑波大学大学院人間総合科学研究科	TCCSG
橋山元浩	熊本大学医学部小児科	TCCSG
太田節雄	帝京大学ちば総合医療センター小児科	TCCSG
加藤俊一	東海大学医学部小児科	TCCSG
林 泰秀	群馬県立小児医療センター	TCCSG
真部 淳	聖路加国際病院小児科	TCCSG
後藤裕明	横浜市立大学医学部小児科	TCCSG
森脇浩一	埼玉医科大学総合医療センター小児科	TCCSG
石井栄三郎	長野県立こども病院血液腫瘍科	TCCSG
井上裕靖	神奈川県立こども医療センター血液・再生医療科	TCCSG
子川和宏	防衛医科大学校附属病院小児科	TCCSG
落合秀匡	千葉大学医学部小児科	TCCSG

乳児白血病委員会

※委員長

氏名	所属グループ名		施設名
康 勝好※	TCCSG	グループ	東京大学医学部小児科
小川 淳	CCLSG	グループ	新潟県立がんセンター新潟病院小児科
佐藤 貴	JACLS	グループ	広島大学医学部小児科
平山雅浩	JACLS	グループ	三重大学医学部小児科
畠中道己	KYCCSG	グループ	福岡大学医学部小児科
富澤大輔	TCCSG	グループ	東京医科歯科大学発達病態小児科学
高橋良博	JACLS	グループ	青森県立中央病院小児科
犀川 太	CCLSG	公募	金沢医科大学発生発達医学
宮村能子	JACLS	公募	岡山大学医学部附属病院小児科
加藤剛二	JACLS	公募	名古屋第一赤十字病院小児医療センター血液腫瘍科
石井榮一	JACLS	公募	愛媛大学大学院医学系研究科小児医学
杉田完爾	TCCSG	公募	山梨大学医学部小児科

AML委員会

※委員長

氏名	所属グループ名		施設名
多和昭雄※	JACLS	グループ	国立病院機構大阪医療センター小児科
多賀 崇	CCLSG	グループ	滋賀医科大学小児科
東 英一	JACLS	グループ	三重大学医学部小児科
足立壮一	JACLS	グループ	京都大学医学部小児科
盛武 浩	KYCCSG	グループ	宮崎大学医学部小児科
木下明俊	TCCSG	グループ	聖マリアンナ医科大学小児科
高橋浩之	TCCSG	グループ	済生会横浜市南部病院小児科
濱 麻人	JACLS	公募	名古屋大学大学院医学系研究科小児科学
今泉益栄	JACLS	公募	宮城県立こども病院血液腫瘍科
中山秀樹	個人会員	公募	国立病院機構福岡東医療センター小児科
工藤寿子	TCCSG	公募	筑波大学医学部小児科
富澤大輔	TCCSG	公募	東京医科歯科大学大学院発生発達病態学

リンパ腫委員会

※委員長

氏名	所属グループ名		施設名
森 鉄也※	TCCSG	グループ	国立成育医療センター血液腫瘍科
鶴澤正仁	CCLSG	グループ	愛知医科大学医学部小児科
小林良二	JACLS	グループ	特定医療法人北楡会札幌北楡病院小児科
藤田直人	JACLS	グループ	広島赤十字・原爆病院小児科
三井哲夫	JACLS	グループ	山形大学医学部小児科
稲田浩子	KYCCSG	グループ	久留米大学医学部小児科
熊谷昌明	TCCSG	グループ	国立成育医療センター固形腫瘍科
高嶋能文	CCLSG	公募	静岡県立こども病院血液腫瘍科
深野玲司	KYCCSG	公募	山口大学医学部小児科
菊地 陽	TCCSG	公募	埼玉県立小児医療センター血液・腫瘍科
角南勝介	TCCSG	公募	成田赤十字病院小児血液腫瘍科
田中文字	TCCSG	公募	済生会横浜市南部病院小児科

ALL委員会

※委員長

氏名	所属グループ名		施設名
渡辺 新※	CCLSG	グループ	中通総合病院小児科
八木啓子	JACLS	グループ	大阪府立急性期・総合医療センター小児科
佐藤 篤	JACLS	グループ	宮城県立こども病院血液腫瘍科
西村真一郎	JACLS	グループ	広島大学医学部小児科
岡本康裕	KYCCSG	グループ	鹿児島大学医学部小児科
小原 明	TCCSG	グループ	東邦大学医学部輸血部
康 勝好	TCCSG	グループ	東京大学医学部小児科
百名伸之	CCLSG	公募	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児血液腫瘍科
今井千速	CCLSG	公募	新潟大学小児科
宇佐美郁哉	JACLS	公募	神戸市立医療センター中央市民病院小児科
永利義久	KYCCSG	公募	独立行政法人国立病院機構九州がんセンター小児科
大嶋宏一	個人会員	公募	独立行政法人理化学研究所構造系研究所 免疫・アレルギー科学総合研究センター免疫ゲノミクス研究グループ

PhiALL委員会

※委員長

氏名	所属グループ名		施設名
河崎裕英※	JACLS	グループ	関西医科大学枚方病院小児科
渡辺 力	CCLSG	グループ	徳島赤十字病院小児科
佐藤 篤	JACLS	グループ	宮城県立こども病院血液腫瘍科
松本公一	JACLS	グループ	名古屋第一赤十字病院小児血液腫瘍科
真部 淳	TCCSG	グループ	聖路加国際病院小児科
梶原道子	TCCSG	グループ	東京医科歯科大学医学部輸血部
陳 基明	CCLSG	公募	日本大学医学部附属板橋病院
嶋田博之	TCCSG	公募	慶應義塾大学医学部小児科

HLH委員会

※委員長

氏名	所属グループ名		施設名
石井榮一※	JACLS	グループ	愛媛大学医学部小児科
金兼弘和	CCLSG	グループ	富山大学医学部小児科
鈴木信寛	JACLS	グループ	札幌医科大学小児科
子川和宏	TCCSG	グループ	防衛医科大学校付属病院小児科
柳澤 龍	TCCSG	グループ	信州大学医学部小児科
森本 哲	TCCSG	公募	自治医科大学小児科
松原 央	JACLS	公募	京都大学医学部小児科
清谷知賀子	TCCSG	公募	国立成育医療センター小児腫瘍科
大賀正一	KYCCSG	委員長推薦	九州大学大学院発達医学
石田也寸志	TCCSG	委員長推薦	聖路加国際病院小児科
小山真徳	JACLS	委員長推薦	大阪府立母子保健総合医療センター血液腫瘍科

CML委員会

※委員長

氏名	所属グループ名		施設名
嶋田博之※	TCCSG	グループ	慶應義塾大学医学部小児科
伊藤正樹	CCLSG	グループ	福島県立医科大学医学部小児科
谷澤昭彦	JACLS	グループ	福井大学医学部小児科
浜本和子	JACLS	グループ	広島赤十字・原爆病院小児科
堀田紀子	個人会員	グループ	徳山中央病院小児科
黒澤秀光	TCCSG	グループ	獨協医科大学医学部小児科・血液
遠野千佳子	個人会員	グループ	青森労災病院小児科
村松秀城	JACLS	公募	名古屋大学大学院医学系研究科小児科学
渡辺輝浩	CCLSG	公募	新潟県立がんセンター新潟病院小児科

長期フォローアップ委員会

※委員長

氏名	所属グループ名		施設名
石田也寸志※	TCCSG	公募	聖路加国際病院小児科
浅見恵子	CCLSG	グループ*	新潟県立がんセンター新潟病院小児科
堀 浩樹	JACLS	グループ*	三重大学医学部小児科
力石 健	JACLS	グループ*	東北大学医学部小児科
山口悦子	JACLS	グループ*	大阪市立大学医学部小児科
大園秀一	KYCCSG	グループ*	久留米大学医学部小児科
前田美穂	TCCSG	グループ*	日本医科大学小児科
徳山美香	個人会員/TCCSG	グループ*	東邦大学医療センター佐倉病院小児科
前田尚子	JACLS	公募	独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター小児科
有瀧健太郎	個人会員	公募	箕面市立病院小児科
沖本由理	TCCSG	公募	千葉県こども病院血液腫瘍科
栗山貴久子	個人会員	公募	名古屋大学医学部附属病院親と子どもの診療部

再発ALL委員会

※委員長

氏名	所属グループ名		施設名
小川千登世※	TCCSG	グループ*	聖路加国際病院小児科
菊田 敦	CCLSG	グループ*	福島県立医科大学医学部小児科
井口晶裕	JACLS	グループ*	旭川医科大学小児科
鬼頭敏幸	CCLSG	グループ*	愛知医科大学病院小児科
熊本忠史	JACLS	グループ*	三重大学医学部小児科
永利義久	KYCCSG	グループ*	国立病院機構九州がんセンター小児科
太田節雄	TCCSG	グループ*	帝京大学ちば総合医療センター小児科
山中純子	CCLSG	公募	国立国際医療センター小児科
岡田恵子	JACLS	公募	大阪市立総合医療センター小児血液腫瘍科
山本将平	TCCSG	公募	昭和大学藤が丘病院小児科
後藤裕明	TCCSG	公募	横浜市立大学附属病院小児科
浅野 健	TCCSG	公募	日本医科大学千葉北総病院小児科

JMML委員会

※委員長

氏名	所属グループ名		施設名
真部 淳※	TCCSG	グループ*	聖路加国際病院小児科
今村 勝	CCLSG	グループ*	新潟大学医学部小児科
金田 眞	JACLS	グループ*	北海道大学医学部小児科
大塚欣敏	JACLS	グループ*	兵庫医科大学小児科
宮地良介	JACLS	グループ*	産業医科大学小児科
稲垣二郎	KYCCSG	グループ*	国立病院機構九州がんセンター小児科
矢部みはる	TCCSG	グループ*	東海大学医学部小児科
海老原康博	TCCSG	公募	東京大学医科学研究所附属病院小児細胞移植科
渡邊健一郎	JACLS	公募	京都大学大学院医学研究科発達小児科学
吉田奈央	JACLS	公募	名古屋第一赤十字病院小児医療センター血液腫瘍科
坂下一夫	TCCSG	公募	信州大学附属病院小児科

LCH委員会

※委員長

氏名	所属グループ名		施設名
森本 哲※	TCCSG	公募	自治医科大学小児科
金兼弘和	CCLSG	グループ	富山大学医学部小児科
今村俊彦	JACLS	グループ	京都府立医科大学小児科
田内久道	JACLS	グループ	愛媛大学医学部小児科
神藪淳司	JACLS	グループ	北九州市立八幡病院小児救急センター
中川慎一郎	KYCCSG	グループ	久留米大学医学部小児科
工藤寿子	TCCSG	グループ	筑波大学医学部小児科
塩田曜子	TCCSG	グループ	国立成育医療センター血液科
佐藤 貴	JACLS	公募	広島大学病院血液小児科
中館尚也	TCCSG	公募	北里大学医学部小児科

SCT委員会

※委員長

氏名	所属グループ名		施設名
矢部普正※	TCCSG	グループ	東海大学医学部小児科
堀越泰雄	CCLSG	グループ	静岡県立こども病院血液腫瘍科
鈴木信寛	JACLS	グループ	札幌医科大学小児科
太田秀明	JACLS	グループ	大阪大学医学部小児科
渡邊修大	JACLS	グループ	国立病院機構名古屋医療センター小児科
古賀友紀	KYCCSG	グループ	九州大学医学部小児科
磯山恵一	TCCSG	グループ	昭和大学藤が丘病院小児科
望月一弘	CCLSG	公募	福島県立医科大学小児科
足立壮一	JACLS	公募	京都大学小児科
石田宏之	JACLS	公募	松下記念病院小児科
岡村隆行	JACLS	公募	琉球大学医学部病態解析医科学講座育成医学分野
長澤正之	TCCSG	公募	東京医科歯科大学歯学総合研究科発生発達病態学小児科

病理委員会

※委員長

氏名	所属グループ名	施設名
中川温子※	個人会員	国立成育医療センター臨床検査部
藤本純一郎	個人会員	国立成育医療センター研究所
大島孝一	個人会員	久留米大学医学部病理学教室
田丸淳一	個人会員	埼玉医科大学総合医療センター病理
中村栄男	個人会員	名古屋大学医学部附属病院病理部
中峯寛和	個人会員	関西医療大学保険医療学部病理学・免疫学部門
北條 洋	個人会員	福島県立医科大学医学部第一病理学教室
吉野 正	個人会員	岡山大学大学院医歯学総合研究科病理・病態学
松野吉宏	個人会員	北海道大学病院病理部

研究審査委員会

※委員長

氏名	所属グループ名	施設名
土屋 滋※	JACLS	東北大学大学院医学系研究科発生・発達医学講座 小児病態学分野
麦島秀雄	CCLSG	日本大学医学部
工藤 亨	JACLS	北海道立子ども総合医療・療育センター
松崎彰信	KYCCSG	九州大学医学部保健学科
佐藤武幸	TCCSG	千葉大学感染症管理治療部
戈木クレイグ・ヒル滋子	外部委員	東京都立保健科学大学
熱田由子	外部委員	名古屋大学医学部造血細胞移植情報管理・生物統計学

分子・細胞遺伝学的診断委員会

※委員長

氏名	所属グループ名	施設名
林 泰秀※	TCCSG	群馬県立小児医療センター
堀 壽成	CCLSG	愛知医科大学医学部小児科
出口隆生	JACLS	三重大学医学部小児科
太田秀明	JACLS	大阪大学大学院医学系研究科小児発達医学
照井君典	JACLS	弘前大学医学部小児科
林 英蔚	JACLS	天理よろづ相談所病院小児科
岩本彰太郎	JACLS	三重大学医学部小児科
横田昇平	個人会員	京都府立医科大学第三内科
滝 智彦	個人会員	京都府立医科大学大学院医学研究科分子病態検査医学
清河信敬	個人会員	国立成育医療センター研究所発生・分化研究部形態発生研究室
横澤敏也	個人会員	国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター

倫理委員会

土屋 滋※	JACLS	東北大学大学院医学系研究科発生・発達医学講座 小児病態学分野
水谷修紀	TCCSG	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科発生発達病態学
藤本純一郎	個人会員	国立成育医療センター研究所
松崎彰信	KYCCSG	九州大学医学部保健学科
駒田美弘	JACLS	三重大学大学院医学系研究科小児発達医学分野
沖本由理	TCCSG	千葉県こども病院小児血液腫瘍科
富田純司	外部委員	長野法律事務所
掛江直子	外部委員	国立成育医療センター研究所政策科学研究部
上別府圭子	外部委員	東京大学大学院医学系研究科家族看護学教室

監査委員会

※委員長

氏名	所属グループ名	施設名
小田 慈※	JACLS	岡山大学大学院保健学研究科/付属病院小児科
今泉益栄	JACLS	宮城県立こども病院血液腫瘍科
東 英一	JACLS	三重大学医学部小児科
工藤 亨	JACLS	北海道立子ども総合医療・療育センター
多和昭雄	JACLS	国立病院機構大阪医療センター小児科
太田 茂	CCLSG	滋賀医科大学医学部小児科
松崎彰信	KYCCSG	九州大学医学部保健学科
沖本由理	TCCSG	千葉県こども病院血液腫瘍科
花田良二	TCCSG	埼玉県立小児医療センター
藤本純一郎	個人会員	国立成育医療センター研究所
掛江直子	外部委員	国立成育医療センター研究所成育政策科学研究部
堀部敏三	JACLS	国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター

免疫診断委員会

駒田美弘※	JACLS	三重大学大学院医学系研究科小児発達医学分野
鶴澤正仁	CCLSG	愛知医科大学医学部小児科
清河信敬	個人会員	国立成育医療センター研究所 発生・分化研究部
太田秀明	JACLS	大阪大学大学院医学系研究科小児発達医学
出口隆生	JACLS	三重大学大学院医学系研究科小児発達医学分野
海老原康博	TCCSG	東京大学医科学研究所小児細胞移植科
岩本彰太郎	JACLS	三重大学医学部小児科
中原一彦	個人会員	独立行政法人大学評価・学位授与機構 学位審査研究部
高瀬浩造	個人会員	東京医科歯科大学大学院医歯学研究開発学
橋本 互	個人会員	ダコ・ジャパン株式会社メディカルサイエンス部フローサイトメトリーセクション
小川恵津子	個人会員	日本ベクトン・ディッキンソン株式会社バイオサイエンス事業部
宮崎年恭	個人会員	日本ベクトン・ディッキンソン株式会社BDバイオサイエンスサイエンティフィック アフェアーズ

プロトコールレビューワーキンググループ ※委員長

氏名	所属グループ名	施設名
原 純一※	JACLS	大阪市立総合医療センター小児血液腫瘍科
七野浩之	CCLSG	日本大学医学部附属板橋病院小児科
佐藤 貴	JACLS	広島大学医学部小児科
末延聡一	JACLS	大分大学医学部小児科
澤田明久	JACLS	大阪府立母子保健総合医療センター小児科
岡田恵子	JACLS	大阪市立総合医療センター小児血液腫瘍科
松原 央	JACLS	京都大学大学院発達小児科学
松本公一	JACLS	名古屋第一赤十字病院小児血液腫瘍科
稲垣二郎	KYCCSG	国立病院機構九州がんセンター小児科
岡本康裕	KYCCSG	鹿児島大学医学部小児科
藤村純也	TCCSG	順天堂大学医学部附属順天堂医院小児科・思春期科
加藤元博	TCCSG	東京大学大学院医学系研究科
望月慎史	TCCSG	埼玉県立小児医療センター血液・腫瘍科
高橋良博	JACLS	青森県立中央病院小児科

JPLSG施設会員一覧

2009.3.1

(敬称略)

(182施設)

施設コード	グループ	施設名	研究責任者	実務担当者
103	JACLS	札幌医科大学附属病院小児科	鈴木信寛	鈴木信寛
104	JACLS	北海道立子ども総合医療・療育センター小児科	工藤 亨	小田孝憲
106	JACLS	特定医療法人北楡会札幌北楡病院小児科	小林良二	小林良二
107	JACLS	北海道大学医学部附属病院小児科	金田 眞	金田 眞
110	JACLS	KKR札幌医療センター小児科	鹿野高明	鹿野高明
111	JACLS	旭川医科大学病院小児科	吉田 眞	吉田 眞
112	JACLS	市立函館病院小児科	依田弥奈子	依田弥奈子
114	JACLS	市立釧路総合病院小児科	足立憲昭	水江伸夫
202	JACLS	弘前大学医学部附属病院小児科	伊藤悦朗	照井君典
206	JACLS	青森県立中央病院小児科	立花直樹	高橋良博
207	CCLSG	市立秋田総合病院小児科	小泉ひろみ	小泉ひろみ
208	CCLSG	中通総合病院小児科	渡辺 新	渡辺 新
209	CCLSG	秋田大学医学部附属病院小児科	矢野道広	矢野道広
210	JACLS	岩手医科大学附属病院小児科	遠藤幹也	遠藤幹也
211	JACLS	岩手県立北上病院小児科	越前屋竹寅	越前屋竹寅
214	JACLS	いわき市立総合磐城共立病院小児科	鈴木 潤	浅田洋司
216	CCLSG	福島県立医科大学附属病院小児科	菊田 敦	菊田 敦
217	JACLS	東北大学病院小児科・小児腫瘍科	土屋 滋	力石 健
218	JACLS	宮城県立こども病院血液腫瘍科	今泉益栄	佐藤 篤
220	JACLS	山形大学医学部附属病院小児科	三井哲夫	仙道 大
221	JACLS	仙台市立病院小児科	大竹正俊	大竹正俊
301	TCCSG	茨城県立こども病院小児科	土田昌宏	小池和俊
303	TCCSG	筑波大学附属病院小児科	福島 敬	福島 敬
304	TCCSG	横浜市立大学附属病院小児科	後藤裕明	後藤裕明
306	TCCSG	済生会横浜市南部病院小児科	甲斐純夫	高橋浩之
307	TCCSG	帝京大学医学部附属溝口病院小児科	石黒 精	鈴木徹臣
308	TCCSG	北里大学病院小児科	中館尚也	中館尚也
309	TCCSG	東海大学医学部附属病院小児科	加藤俊一	森本 克
310	TCCSG	昭和大学藤が丘病院小児科	磯山恵一	山本将平
311	TCCSG	神奈川県立こども医療センター血液・再生医療科	気賀沢寿人	松本正栄
312	TCCSG	聖マリアンナ医科大学病院小児科	木下明俊	木下明俊
313	TCCSG	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院小児科	瀧 正志	木下明俊
315	TCCSG	群馬県立小児医療センター血液腫瘍科	林 泰秀	外松 学
316	TCCSG	群馬大学医学部附属病院小児科	金澤 崇	金澤 崇
319	TCCSG	埼玉医科大学総合医療センター小児科	森脇浩一	森脇浩一
320	TCCSG	埼玉県立小児医療センター血液・腫瘍科	菊地 陽	菊地 陽
322	TCCSG	防衛医科大学校附属病院小児科	野々山恵章	子川和宏
323	TCCSG	埼玉医科大学病院小児科	石井佐織	石井佐織
324	TCCSG	帝京大学ちば総合医療センター小児科	太田節雄	野中俊秀
326	TCCSG	日本医科大学千葉北総病院小児科	浅野 健	浅野 健
328	TCCSG	成田赤十字病院小児血液腫瘍科	角南勝介	野口 靖
329	TCCSG	千葉大学医学部附属病院小児科	石和田稔彦	落合秀匡
330	TCCSG	千葉県こども病院血液腫瘍科	沖本由理	角田治美
332	TCCSG	松戸市立病院小児科	小森功夫	小森功夫
333	TCCSG	東京医科大学病院小児科	星加明徳	小穴信吾
334	CCLSG	国立国際医療センター小児科	松下竹次	佐藤典子
335	CCLSG	日本大学医学部附属板橋病院小児科	麦島秀雄	陳 基明

施設コード	グループ	施設名	研究責任者	実務担当者
336	TCCSG	武蔵野赤十字病院小児科	日下隼人	今井雅子
337	TCCSG	帝京大学医学部附属病院小児科	中村こずえ	中村こずえ
338	TCCSG	東京医科歯科大学医学部附属病院小児科	水谷修紀	長澤正之
339	TCCSG	東京慈恵会医科大学附属第三病院小児科	加藤陽子	加藤陽子
340	TCCSG	都立清瀬小児病院血液腫瘍科	金子 隆	金子 隆
341	TCCSG	東京慈恵会医科大学附属病院小児科	秋山政晴	加藤陽子
342	TCCSG	日本医科大学附属病院小児科	前田美穂	前田美穂
343	TCCSG	東京女子医科大学東医療センター小児科	和田恵美子	加藤文代
344	TCCSG	東京大学医学部研究所附属病院小児細胞移植科	辻浩一郎	海老原康博
345	TCCSG	東京大学医学部附属病院小児科	井田孔明	康 勝好
347	TCCSG	慶應義塾大学病院小児科	嶋田博之	嶋田博之
348	TCCSG	東京都立駒込病院小児科	賀来秀文	賀来秀文
349	TCCSG	東邦大学医療センター大森病院小児科	小原 明	小原 明
350	TCCSG	昭和大学病院小児科	北林 耐	阿部祥英
351	TCCSG	順天堂大学医学部附属順天堂病院小児科	齋藤正博	藤村純也
353	TCCSG	国立成育医療センター小児腫瘍科・血液科	熊谷昌明	清谷知賀子
354	TCCSG	聖路加国際病院小児科	細谷亮太	真部 淳
355	TCCSG	杏林大学医学部附属病院小児科	別所文雄	吉野 浩
356	TCCSG	東京歯科大学市川総合病院小児科	川口裕之	川口裕之
358	TCCSG	東京西徳州会病院小児科	小林美由紀	小林美由紀
359	TCCSG	獨協医科大学病院小児科	杉田憲一	黒澤秀光
360	TCCSG	自治医科大学附属病院小児科	郡司勇治	柏井良文
361	TCCSG	信州大学医学部附属病院小児科	小池健一	小池健一
362	TCCSG	長野県立こども病院総合診療部	石井栄三郎	小林法元
363	CCLSG	新潟大学医歯学総合病院小児科	今井千速	今井千速
364	CCLSG	新潟県立がんセンター新潟病院小児科	浅見恵子	小川 淳
365	TCCSG	山梨大学医学部附属病院小児科	杉田完爾	犬飼岳史
367	TCCSG	埼玉医科大学国際医療センター包括的がんセンター小児腫瘍科	田中竜平	田中竜平
401	JACLS	名鉄病院小児科	福田 稔	福田 稔
402	JACLS	藤田保健衛生大学附属病院小児科	吉川哲史	吉川哲史
403	CCLSG	愛知医科大学病院小児科	鶴澤正仁	堀 壽成
404	JACLS	小牧市民病院小児科	大野敏行	大野敏行
405	JACLS	独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター小児科	堀部敬三	前田尚子
407	JACLS	名古屋市立東部医療センター東市民病院小児科	矢崎 信	水谷圭吾
408	JACLS	名古屋第二赤十字病院小児科	石井睦夫	石井睦夫
409	JACLS	安城更生病院小児科	宮島雄二	宮島雄二
411	JACLS	名古屋第一赤十字病院小児血液腫瘍科	加藤剛二	松本公一
412	JACLS	名古屋大学医学部附属病院小児科	小島勢二	高橋義行
414	JACLS	名古屋市立大学医学部附属病院小児科	伊藤康彦	伊藤康彦
415	JACLS	豊橋市民病院小児科	伊藤 剛	伊藤 剛
416	JACLS	一宮市立市民病院小児科	判治康彦	三宅能成
417	JACLS	岡崎市民病院小児科	近藤 勝	近藤 勝
418	CCLSG	金沢大学医学部附属病院小児科	谷内江昭宏	西村良成
419	CCLSG	石川県立中央病院小児科	堀田成紀	堀田成紀
420	CCLSG	金沢医科大学病院小児科	柳瀬卓也	柳瀬卓也
421	JACLS	岐阜市民病院小児科	鷹尾 明	篠田邦大
423	JACLS	岐阜大学医学部附属病院小児科	近藤直実	船戸道徳
424	JACLS	県西部浜松医療センター小児科	矢島周平	矢島周平
425	JACLS	浜松医科大学附属病院小児科	岡田周一	岡田周一

施設コード*	グループ*	施設名	研究責任者	実務担当者
427	CCLSG	静岡県立こども病院血液腫瘍科	堀越泰雄	高嶋能文
430	JACLS	聖隷浜松病院小児科	松林 正	松林 正
431	TCCSG	静岡県立静岡がんセンター小児科	石田裕二	石田裕二
432	CCLSG	富山大学附属病院小児科	金兼弘和	野村恵子
435	JACLS	福井大学医学部附属病院小児科	眞弓光文	谷澤昭彦
438	JACLS	三重大学医学部附属病院小児科	駒田美弘	堀 浩樹
501	JACLS	独立行政法人国立病院機構大阪医療センター小児科	多和昭雄	多和昭雄
502	CCLSG	独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院小児科	川村尚久	川村尚久
504	JACLS	大阪市立大学医学部附属病院小児科	倭 和美	倭 和美
505	JACLS	近畿大学医学部附属病院小児科	坂田尚己	坂田尚己
507	JACLS	松下記念病院小児科	吉原隆夫	石田宏之
508	JACLS	大阪府立母子保健総合医療センター血液・腫瘍科	井上雅美	安井昌博
510	JACLS	大阪大学医学部附属病院小児科	太田秀明	橋井佳子
512	JACLS	近畿大学医学部堺病院小児科	森口直彦	森口直彦
513	CCLSG	大阪医科大学附属病院小児科	河上千尋	河上千尋
514	JACLS	関西医科大学附属枚方病院小児科	河崎裕英	河崎裕英
515	JACLS	財団法人田附興風会北野病院小児科	秦 大資	塩田光隆
516	JACLS	大阪市立総合医療センター小児血液腫瘍科	原 純一	大杉夕子
517	JACLS	大阪赤十字病院小児科	田中晴樹	田中晴樹
518	JACLS	大阪府立急性期・総合医療センター小児科	野間治義	野間治義
519	JACLS	中野こども病院小児科	園府寺美	園府寺美
521	JACLS	市立岸和田市民病院小児科	瀬戸嗣郎	藤野寿典
523	JACLS	京都第一赤十字病院小児科	中林佳信	中林佳信
524	JACLS	京都桂病院小児科	若園吉裕	水嶋康浩
525	JACLS	京都大学医学部附属病院小児科	中畑龍俊	足立壮一
527	JACLS	京都市立病院小児科	黒田啓史	黒田啓史
529	JACLS	独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター小児科	小松博史	小松博史
530	JACLS	京都府立医科大学附属病院小児科	細井 創	今村俊彦
532	CCLSG	滋賀医科大学附属病院小児科	太田 茂	多賀 崇
534	JACLS	大津赤十字病院小児科	今井 剛	今井 剛
536	JACLS	天理よろづ相談所病院小児科	南部光彦	岡田雅行
537	JACLS	奈良県立医科大学附属病院小児科	樋口万緑	樋口万緑
538	JACLS	神戸大学医学部附属病院小児科	早川 晶	矢内友子
540	JACLS	神戸市立医療センター中央市民病院小児科	宇佐美郁哉	宇佐美郁哉
541	JACLS	姫路赤十字病院小児科	久呉真章	高橋宏暢
542	JACLS	明石市立市民病院小児科	貫名貞之	石井るみ子
543	JACLS	兵庫県立こども病院血液腫瘍科	小阪嘉之	長谷川大一郎
544	JACLS	兵庫医科大学病院小児科	大塚欣敏	大塚欣敏
545	JACLS	西神戸医療センター小児科	松原康策	松原康策
546	JACLS	社会保険神戸中央病院小児科	坂本 泉	加納 原
547	JACLS	日本赤十字社和歌山医療センター小児科	百井 亨	濱畑啓悟
548	JACLS	和歌山県立医科大学附属病院小児科	神波信次	神波信次
601	JACLS	愛媛県立中央病院小児科	徳田桐子	徳田桐子
602	JACLS	愛媛大学医学部附属病院小児科	石井榮一	田内久道
603	JACLS	松山赤十字病院小児科	小谷信行	雀部 誠
604	JACLS	独立行政法人国立病院機構岡山医療センター小児科	古山輝久	古山輝久
605	JACLS	岡山大学医学部・歯学部附属病院小児科	小田 慈	茶山公祐
606	JACLS	岡山済生会総合病院小児科	富山佳江	富山佳江
607	JACLS	岡山赤十字病院小児科	江口直宏	植原幸二

施設コード*	グループ*	施設名	研究責任者	実務担当者
609	JACLS	川崎医科大学附属病院小児科	川崎浩三	川崎浩三
610	JACLS	倉敷中央病院小児科	藤原充弘	藤原充弘
611	CCLSG	独立行政法人国立病院機構香川小児病院小児科	岩井朝幸	岩井朝幸
612	JACLS	香川大学医学部附属病院小児科	今井 正	今井 正
613	JACLS	高知医療センター小児科	西内律雄	西内律雄
614	CCLSG	高知赤十字病院小児科	阿部孝典	阿部孝典
615	JACLS	高知大学医学部附属病院小児科	脇口 宏	久川浩章
617	JACLS	島根大学医学部附属病院小児科	金井理恵	金井理恵
618	JACLS	島根県立中央病院小児科	浅井康一	矢野 潤
619	CCLSG	徳島大学病院小児科	渡辺浩良	渡辺浩良
620	CCLSG	鳥取大学医学部附属病院小児科	上山潤一	上山潤一
621	CCLSG	鳥取県立中央病院小児科	星加忠孝	星加忠孝
622	JACLS	広島大学病院小児科	小林正夫	西村真一郎
623	JACLS	独立行政法人国立病院機構呉医療センター小児科	宮河真一郎	宮河真一郎
624	JACLS	広島赤十字・原爆病院小児科	浜本和子	藤田直人
625	KYCCSG	山口大学医学部附属病院小児科	深野玲司	戸村友美
629	CCLSG	徳島赤十字病院 小児科	渡辺 力	渡辺 力
702	KYCCSG	大分県立病院小児科	糸長伸能	糸長伸能
703	JACLS	大分大学医学部附属病院小児科	末延聡一	末延聡一
704	JACLS	琉球大学医学部附属病院小児科	岡村隆行	岡村隆行
705	CCLSG	沖縄県立南部医療センターこども医療センター小児血液腫瘍科	百名伸之	百名伸之
706	KYCCSG	鹿児島市立病院小児科	川上 清	川上 清
707	KYCCSG	鹿児島大学病院小児診療センター小児科	河野嘉文	岡本康裕
708	TCCSG	独立行政法人国立病院機構熊本医療センター小児科	高木一孝	森永信吾
709	TCCSG	熊本大学医学部附属病院小児科	橋山元浩	橋山元浩
710	TCCSG	熊本赤十字病院小児科	右田昌宏	右田昌宏
711	JACLS	佐賀大学医学部附属病院小児科	尾形善康	西 真範
712	CCLSG	長崎大学医学部・歯学部附属病院小児科	岡田雅彦	岡田雅彦
713	KYCCSG	北九州市立医療センター小児科	日高靖文	日高靖文
714	JACLS	北九州市立八幡病院小児救急センター小児科	神菌淳司	神菌淳司
715	KYCCSG	久留米大学医学部附属病院小児科	稲田浩子	上田耕一郎
716	JACLS	産業医科大学病院小児科	白幡 聡	宮地良介
717	KYCCSG	九州大学病院小児科	原 寿郎	松崎彰信
718	KYCCSG	独立行政法人国立病院機構九州がんセンター小児科	岡村 純	永利義久
719	KYCCSG	福岡大学病院小児科	柳井文男	畠中道己
721	KYCCSG	宮崎大学医学部附属病院小児科	盛武 浩	下之段秀美
724	CCLSG	佐世保市総合病院小児科	中下誠郎	上玉利彰

第23回 JPLSG 運営委員会議事録

日時:2008年4月20日(日)9:00~15:00

於:東京八重洲ホール 901 会議室

出席者(敬称略・順不同): 浅見恵子、足立壮一、石井榮一、石田也寸志、岡村 純、小川千登世、沖本由理、小田 慈、小原 明、加藤俊一、河崎裕英、熊谷昌明、康 勝好、小阪嘉之、駒田美弘、嶋田博之、瀧本哲也、多和昭雄、土田昌宏、土屋 滋、鶴澤正仁、中畑龍俊、花田良二、林 泰秀、原 純一、堀部敬三、水谷修紀、渡辺 新、中島晶子
欠席(敬称略・順不同): 工藤 亨、藤本純一郎

【議題1:新役員あいさつ】

鶴澤Drより新規役員の紹介および、新運営委員長の鶴澤正仁Dr、新代表 堀部敬三Dr、新監事の加藤俊一Dr、浅見恵子Drから就任の挨拶が行なわれた。また旧代表の中畑龍俊Drの挨拶、今般交代で退かれるデータセンター長の瀧本哲也Drからも挨拶があった。

新運営委員長の鶴澤正仁Drより、新副運営委員長に石井榮一Dr、小原明Drの推薦があり承認された。

【議題2:前回議事録の確認】

資料1の通り、前回議事録の確認が行なわれた。特に意見なく承認された。

【議題3:庶務報告】

資料2の通り、退会施設、新個人会員の入会者の報告が行なわれた。

資料2の修正箇所は以下の通り。

(退会施設) 北海道がんセンター → 所属 CCLSG に修正

(個人会員) 齋藤明子先生は5月1日着任、その後入会。

【議題4:会計中間報告】

堀部Drより別紙資料にて会計の中間報告書類が提示され、H19年度の支出内容についての報告が行なわれた。正式な会計報告は次回の運営委員会にて実施予定。

H19年におけるJPLSGの活動の経費は、JPLSGの会計と堀部班研究費および疾患登録システムの一部は藤本班研究費にも依存している状況。特に、旅費がH18年度の2倍になり、委員会活動が活発になったことにより会場費、会議費(飲食)の経費も増加した。さらにJPLSGデータセンターのデータマネージャーの人件費がH19年の研究費で打ち切りとなるため、経費増加分プラス人件費5名分の経費の確保が必要になっている。さらに、収入源の寄付も製薬会社の合併等も見込まれるため、確実な収入確保が必要になる。このことについて、下記の通り、H20年における経費削減のための取り組みが検討された。

(検討事項・意見)

- ・ 会議開催の会場費は、例えば、委員の施設を利用する等、料金のかからない会場利用を検討する。
- ・ 委員会の回数そのものを減らす。それが難しいのであれば委員全員が出席ではなく、例えばプロトコル作成委員といったようなコアメンバーで会議を実施する等、参加人数の加減も可能だろう。
- ・ 色々な催し物に連動させてJPLSG委員会を実施する。そのためにも、一般講演会や研究会等の行事を早めに事務局で把握・収集をしてアナウンスする。
- ・ 将来的には、研究においても、非常に症例が少ない研究やガイドライン的な研究であれば、DC委託する必要があるかどうかというところまで踏み込んで考えていかなければならないだろう。
- ・ 付随研究においては、科学性、妥当性、倫理性、およびコストパフォーマンスも予め検討するべき。メーカーに指定寄付等の依頼を実施する方法、積極的な公的・私的の研究費を取りに行くという方法もあるだろう。
- ・ タイラー基金に支援を依頼する。
- ・ 今後JPLSGの成績が出てくるの、それを基盤に共同で公的研究費も含めて獲得する方向に力を入れる。

【議題5:委員会委員の承認】

資料3、および別紙1の通り3月から4月にかけて実施した役員選挙の実施報告、結果報告および治療研究委員会委員の改選報告が行なわれた。

治療研究委員会の公募委員の選出がおこなわれた結果、資料提示の通り委員が選出、確定した。なお、定員以上の公募があった委員会より選出の経緯が別紙1にてそれぞれの旧委員長より報告された。(対象委員会:乳児白血病委員会/康Dr、ALL委員会/渡辺Dr、長期フォローアップ委員会/石田Dr、再発ALL委員会/小川Dr)

また新規に設立されたSCT委員会、JMML委員会については、旧運営委員長と新運営委員長および発起人の方で検討をおこなった結果も報告された。

なお、資料の修正は以下のとおり。新委員メンバーは承認された。

SCT 委員会：公募枠 選出 岡井隆行先生/琉球大学医学部小児科 (not 望月慎史先生/埼玉小児医療センター)

免疫診断WGと倫理問題WGの委員会設立における、規約案がそれぞれ駒田Drと土屋Drより別紙のとおり紹介された。土屋Drからは倫理委員会の規約が紹介され、現在委員メンバーの検討を行なっているとの報告があった。

駒田Drからは規約案が提示され、外部の専門家や検査会社の方も引き続き参加を依頼し、特に委員になる方には個人会員の手続きを依頼しているとの報告があった。また委員会の名称は次回までに検討する予定であることが報告された。

その他の委員会から;

分子診断委員会 林Dr：委員の交代が発生するため調整中。

研究審査委員会 土屋Dr：メンバーに変更はなく引き続き同メンバーで活動を継続。

PRWG 原Dr：メンバーの交代 府立母子の澤田先生が辞退

九州がんセンターの永利先生から九州がんセンター稲垣二郎先生に交代

京都大学の梅田先生が留学予定。

なお、メンバーの任期について何か形骸にて示して欲しいという意見が出されたが、原Drから定数を作るよりもメンバーをさらに拡充し、例えば試験ごとに数名のグループで作ってレビューを行なうという方向で検討しているため、定員は少しあまいまりにしておいて欲しいという要望があった。

また堀部Drより、委員会委員長に他の委員会が作っているプロトコルをレビューする経験をしてもらうのほどうか、という提案がされた。これに対して、特に反対意見はなく、実際に委員会委員長が参加するにあたって、運営委員会でPRWG提出前のコンセプト、背景の発表を聞いた上で、委員長がメンバーに加わる方法、もしくは、委員長の負担を考慮して参加者を固定せずに交代でメンバーに加わる方法等の意見が出され、これらを原先生に検討してもらうことになった。

監査委員会 小田Dr：関東甲信越から1名、関西1名の定員増を検討中。

【議題6:次期役員・委員選任規定について】資料なし。

今般の役員・治療研究委員会の公募等実施した際に、特に治療研究委員会の公募者の中には、小児科専門医を取得していないメンバーも見受けられたことから、今後、治療研究委員会のメンバー、公募者およびグループ推薦枠の方についても同様に、小児科専門医および、血液専門医の取得を委員の条件として必須にするほうがよいのではないかと提案が鶴澤Drからなされた。このことは、現在、社会的に問題になっている事項でもあり、専門医資格はその専門的な治療をするという一つの土台になるので、少なくともリーダー的な人はその資格がないと問題にされるだろう。また2年後にはJPLSGの施設基準も常勤の中には1名以上血液専門医がいることが資格条件になるので、治療研究委員会の方にも満たすべきという意見で一致し、次の代議員会時に運営委員会から提案することで確認された。

【議題7:施設基準について】資料なし。

すでに、2年後から血液専門医が常勤医の中に1名以上いること、という条件が参加施設に加わる予定だが、もう一つ、過去にも討議された事項ではあるが、2年後に臨床試験の登録が1例もない施設についても自動的に退会ということも条件付けることについて、改めて提案が行なわれた。このことについてはJPLSG登録がないということは、臨床試験登録がないということであり、まったく血液腫瘍の診療の実績が無いに等しいということであるが、非常に大きな問題にもなり得るので、実際の対象施設数等の状況資料を提示したのち、改めて検討することになった。

また、施設条件の2年後の血液専門医を条件にすることについても、5月の施設確認の状況を把握した後に、改めて運営委員会、代議員会で提示し確認を求めることになった。なお、中畑Drより、小児科も血液専門医の取得を増やすべく、施設基準を落とすのではなくて、持たないと治療が出来ない時代になるという認識してもらい専門医を取ってもらうキャンペーンをして欲しいという意見があった。

【議題8:データセンター報告】

議題8-1:登録状況

堀部Drより、資料4-1の通り、現在の登録状況が報告された。

オンライン登録において、開始後約1年が経過しようとしているにも関わらずJPLSG参加施設で未だに学会の施設登録を実施していない施設が5施設あることが報告され、各グループにおいて督促を実施して欲しいという依頼がされた。(該当施設:市立釧路総合病院、松戸市立病院、静岡がんセンター、岸和田市民病院、社会保険神戸中央病院)

議題8-2:NPO化について

データセンターの4/1からのNPO法人化について資料4-2の通り説明が行なわれた。今後「特定非営利活動法人 臨床研究支援機構(通称:NPO法人OSCR)」という名称で活動し、活動内容は、名古屋医療センター臨床研究センターの研究

支援を中心に行なうとの説明が行なわれた。

また、5/1から着任の新データセンター長の齋藤明子先生について履歴書類が回覧された。

【議題9:効果安全性評価委員会報告】

花田 Dr より資料5の通り、前回の報告以降実施された審査の報告がおこなわれた。

リンパ腫の効果安全性評価委員メンバーの交代も報告され、花田 Dr の担当委員の交代についてもご自身から提案されたが、運営委員からの要望により引き続き2年間担当委員を継続していただくことになった。

【議題10:研究審査委員会報告】

土屋 Dr より、資料6の通りPET-CT研究の審査報告が行なわれた。運営委員より「説明同意文書」を「同意説明文書」に修正すること、保険適応についての確認、および情報が外部に漏れない現時点で考えられる最大の工夫を実施し、計画書に具体的な方法を手順に追記すべきという意見があり、研究代表者の鶴澤 Dr に改善が依頼された。また、個人情報管理者を画像解析者のところで置くことについて明記していないので、これも具体的に計画書の中に追加することを変更することが研究審査委員会および運営委員会です承された。

なおこれに関連して、林Drから、どこまでの研究を学会の研究審査委員会に審査申請をして、その他はPLSG研究審査委員会の審査で良いのかははっきりしないとの質問が出され、土屋 Dr と堀部Drから、(通常はプロトコールに記載されている)治療内容に影響を与える(患者の層別化など)研究は全て学会の審査対象で、治療内容に全く影響を及ぼさない研究がPLSGの審査対象となることが説明された。生殖細胞系列遺伝子の研究でも基本的には上記解釈に準じるが、重要な問題なので最終的には審査委員長判断にゆだねることになるとの説明がなされた。

【議題11:PRWG報告,研究審査手順について】資料なし

原 Dr より、コンセプトを作成する前の草案の段階で、運営委員会の検討発表を実施しその後コンセプト作成に着手する手順をPRWGに提出する前の段階の手順として加えて欲しいという意見がだされた。これは、コンセプトを作成しPRWGに提出する前にこの手順が踏まれていると、PRWGで却下ということもなくなると考えられる。さらに概要の時点で運営委員会開催前にメール等で配布すれば時間短縮が図れる。また過去にT-ALLにおいて時間をとって委員会で検討してきたにも関わらず、代議員会で白紙に戻ったケースがあったので、運営委員会でもコンセンサスを取っておく事が大切ではないかという意見に基づき、提案された。

なお、他の委員からは一生懸命準備してきたのに、大切なことわりには運営委員会で割かれる時間が短い。また十分理解されないうちに却下されるのは非常に不本意だと思うので、きちんと時間をとってコンセンサスを取るようになるべきであるとの意見も出された。当手順の実施については承認された。

【議題12:乳児白血病委員会(MLL-09)】

康 Dr より別添資料のとおり、MLL-09のプロトコールコンセプトの概要説明が行なわれた。

今回の重要な改定点として、1)MLL マイナスのプロトコール、2)中間リスク群の設定、3)化学療法の骨格を、従来のものから、COGP9407を骨格としてレジメンを採用する、の3点について説明が行なわれた。

説明に対して下記の通り討議された。その結果運営委員会からの意見を参考に再度検討し、PRWGへ提出を進めるよう依頼された。

(討議内容)

- 基本的な委員会の考え方として、その方向で日本として進んで良いかということを押える必要があると思うが、化学療法群を作るということは、我々が日本でやってきた乳児の戦略から一転する。その時にその戦略が良いかどうかという問題。また、その化学療法群作るという理念は今日本でやろうとしていることはバックボーンをなぞるだけで、その上に何を検証したいかが見えない。
(康 Dr) まず MLL03 に関しては全移植のプロトコールなので、化学療法群としてのアレンジがない。よって化学療法群を作る場合に MLL03 では根拠が作れない。それから MLL03 の化学療法の問題点として寛解導入率があまりよくない。1か月未満の症例が予想以上に多かったことを考慮しても、寛解導入率が不良であることから、化学療法群を作るということを考えたときには、現時点で選べる選択肢として COGP9407をバックボーンとして、修正を加える方向で考えている。もう少し全体としてわかりやすく書き直したい。
- 今までやってきて、移植の有用性というのは示唆されたのか、されていないのか?この検証は極めて難しいが、これまでの日本のプロトコール研究の中では、過去の化学療法時代の成績と較べて移植を導入することにより成績が良くなったとはいえる。そのような移植の有効性を日本としてはっきり示してほしい。
- 日本が率先して他の進むべき方向を世界に提案しないか次に進めないのではないか。その一つの戦略が層別化だと思うので、その戦略が記載されると理解しやすい。
- 1か月未満だけ観察研究にするとということも考えられる。

- ・ 今回の案で進めて、その次の案はどうなるか。先には新薬を探してきて導入すること等まで考えてやらないと、行き詰る可能性がある。全体の流れを常に考えてほしい。

なお、小田 Dr より、中間解析の時点での結果の公表についてもっと注意すべきではないか、という意見がだされた。このことについては、目標症例数に達した時点では当然データ解析は一旦委員会の中では開示した方が良く、そこで解析して登録を継続するかどうかの判断等委員会ではすべきだが、委員会委員にはそれらの情報の守秘義務があり、施設には解釈の結果のみを文章や言葉で通知するに留めるべきであるということになった。

【議題 13: 倫理 WG 報告】

土屋 Dr より資料 7 の通り、JPLSG 登録患者における生殖細胞系列遺伝子解析用検体の収集・保存と分譲の実施計画書、生殖細胞系列遺伝子解析研究のための検体提供のお願い、代諾者用という説明文書が提示された。提示された資料は過去に運営委員会でも議論を重ねてきた意見に沿って作成されたもので、こちらにプラス概要と子供用の説明文書をつけて、日本小児血液の倫理審査委員会に提出予定であることが報告された。

これに関連して、同意の取り直しの期間、対象遺伝子以外の研究の審査、代諾者の同意が不要な年齢、子供用の説明文書などに関して意見が交わされた。

【議題 14: 監査委員会】

小田 Dr より、資料 8 のとおり、三重大学と宮城こども病院の監査シミュレーションの報告が以下の如く行われた。資料詳細のとおり、シミュレーションで見えてきた問題点やそれに伴って委員会にフィードバックすべき内容が明らかになってきたので今後も監査の結果を有効にフィードバックしていきたい。

また今回のシミュレーション後に施設監査規程についても再度検討を実施し、その内容が提示された。

今後の監査計画については、次回代議員会において計画書を提示して承認が得られるように準備する予定。今後は地域委員+データマネージャーで監査を実施することで確認された。

【議題 15: 長期フォローアップ委員会報告】

資料 9 の通り、委員会開催の報告および討議内容が石田 Dr によって報告された。なお 6/29 に小児内分泌学会の CCS 委員会との合同委員会が開催予定であることが報告された。

【議題 16: ALL 委員会(T-ALL 新規研究, BCP-ALL 研究のあり方)】

渡辺 Dr より資料 10 の通り、T-ALL 新規研究について、今までの施設毎に JACLS 型を選ぶか BFM 型を選ぶかという提案から、施設判断ではなく Phase II でランダム化するという変更を行うことでまとまったという報告がなされた。この報告の内容については、下記の通り質疑応答がおこなわれたが、T-ALL 研究においては提示内容による継続で了承された。

(質疑応答)

- ・ ランダム化で何を証明したいのか？
(渡辺 Dr) どちらの強化療法がより良いかを証明したい。
- ・ ロイナーゼの頻用が、肺炎が多かったと思うが大丈夫か？
(渡辺 Dr) 恐らくこれで肺炎が多発することは無いと思う。
- ・ 実際にランダム化に入る症例数はどの位と予想されるか？
(渡辺 Dr) 年間 14 例位と考えている。
- ・ ランダム化 Phase II なので、どちらがましか、ということがわかるだけではないだろうか。むしろ、それでも何もわからないよりはいいだろうということではないか。大きな目的は照射が外せるか、ネララビンの有効性と安全性がわかるかどうかだろう。それを踏まえて、次のステップとしてはどう考えているか。
(渡辺 Dr) 今回は SR 群と HR 群から照射を外すので、外すためにネララビンを加えるという目的が無くなった。後遺障害の少ない、レジメンで同じようなデータが出せるようなスタディになると思う。
- ・ ネララビンが安全に使えるかどうかというデータは取れると思うが、ネララビンが有効かどうか、ネララビンを割り振ることについてはどうなったか。
(渡辺 Dr) high-risk 群において全部で 6 回使用する。そこで評価をしたい。
- ・ 照射を全部外すことについては、照射が外せたという評価はどういう結果からそう評価されることになるのか。ヒストリカルコントロールか。
(渡辺 Dr) 本家と比べることになると思う。PPR 群には全体に当てている BFM 本家とくらべて CNS 再発率がどれくらい増えるか否かを比較する。

B-PRE ALL について

渡辺 Dr より T-ALL がまとまった次回以降に B-PRE のコンセプトについて検討を始めたいという報告がなされたが、原

Drより、ALL 委員会でB-PREの新しいコンセプトを検討する前に、各グループの代表者レベルで、その方向性を話あって検討してから進めるべきで手順を間違えず、きちんと検討の段階を踏んで欲しいという意見が出された。

【議題17:Ph1ALL 委員会(Ph+ALL 新規研究)】

河崎Drより別紙2枚の資料の通り、Ph1ALL04の中間解析の概要説明と、それに基づいた次期新規研究の説明が行なわれた。新規研究は現プロトコルをイマチニブ併用療法に変更して、さらに治療成績の向上を目指すものとし、現強化療法にイマチニブを併用してより早期に分子学的寛解に持ち込む、また再寛解導入療法をhyper CVADに変更し分子学的非寛解例を寛解に持ち込む、寛解導入不能例の判断をday29で行い、イマチニブ併用のhyper CVADなどを用いた別プロトコルに移行させる、この4点をコンセプトとして検討していることの詳細が説明された。

下記質疑応答を踏まえて先に進めることで確認された。

(質疑応答)

- ・ 移植が前提か。
(河崎 Dr) BM4 では陰性化しているにもかかわらず移植後再発している例もあるので、移植無しはまだ時期尚早と考えているので移植を前提に検討している。
- ・ MRDで移植適応を決めるのは難しいですか。MRDをフォローして陰性である限り移植なしの選択はないのか？
- ・ (河崎 Dr) 早期のMRDを評価して移植なし群が選べるか検討していく予定。
- ・ 次期研究で移植を外すことを考えるのであれば、MRDをみながら何かもつと前向きなことが出来ないかと。昨年ASHのCOGのデータから考えて、もうその段階に来ていると考えてよいのではないかと。
(河崎 Dr) 委員会でも議論があったが、それはどこかがやるのを待とうという話になった。
- ・ イマチニブ耐性に関して遺伝子解析しないのか。
(河崎 Dr) それに関して、今後検討していきたい。京都大学での実施が検討されている。

【議題21:CML 委員会報告】

嶋田 Drより、資料13の日本血液学会に登録する演題の内容および共同演者の確認が依頼された。それぞれの演題について、演者選出の説明が行われた。その結果、すべての抄録に共同演者として、JPLSG代表と運営委員長の名前を常に組み込むことで確認された。なお、JMDP関連の発表の演者について(111ページ)は運営委員から異論が出され、嶋田 DrおよびJMDP関連の加藤 Drからも選任の経緯説明がおこなわれた結果、今回は了承するが、今後もこの件に関しては継続審議を行いたいという委員長の要望が出された。

【議題23:小児がん疼痛ケアのアンケートの調査依頼】

堀部 Drより資料14の通り、東京慈恵会医科大学第三病院の加藤陽子先生からの依頼で、平成20年度がん臨床研究事業の中に緩和ケアのガイドライン作成に関するシステム構築に関する研究班から、小児がんの緩和ケアにおける疼痛に関するマネジメントの施設の実態アンケート調査をさせて欲しいという依頼があったことが報告された。

運営委員会としては、公的研究班なので協力をしたほうがよいだろうということと、参加施設に協力を仰ぎ、せっかくここまでやるのであれば、JPLSGにとっても重要な資料になるので、100%JPLSGにも情報を還元してもらうように依頼することで協力が了承された。

【その他】

- ・ AML 委員会の多和 Drより、効果安全性評価委員会に提出した有害事象報告の審査結果報告時、担当委員の花田 Drより、冬期のRSウイルス感染について、死亡例に至らないまでも、時に遷延・重篤化し、乳児例の化学療法の進行を遅らせる一因になっているので、乳児(特に6か月未満)の化学療法例に対するシナジスの適応取得を小児科学会の保険委員会に他の委員会と一緒に働きかけをしたらどうか、という意見を頂いたので進めたいという提案がなされ、運営委員会において了承された。
- ・ 次回運営委員会は6/8の午後1時から予定。
- ・ 今回の議題18、19、20、22、の委員会報告は次回へ持ち越しにする。

以上

(文責:中島晶子、堀部敬三)